

鹿児島港（桜島フェリーターミナル） 周辺巡りマップ



鹿児島港の歴史の始まりは、1341年に東福寺城（現在の多賀山公園一帯）を6代島津氏久の居住とした時と言われています。この頃は、地蔵角・御着屋あたりまで海が広がっていました。

1602年、18代島津家久が鶴丸城に居を構え、以降、島津氏はその領国の置かれた地理的条件を存分に活用し、海外との交流を図っていきます。18世紀末から幕末にかけて、天保山・祇園之洲・小川町などの埋め立てや、岸壁・波止の築造が行われました。これら岸壁・波止は1863年の薩英戦争で威力を発揮することとなります。

1907（明治40）年には「重要港湾」の指定を受け、1923（大正12）年から1934（昭和9）年にかけて、港湾の大改修が実施されました。

戦後、1958（昭和33）年には本港岸壁が完成します。1982（昭和57）年に港湾計画が改訂され、1986（昭和61）年からの埋立工事着手から、2007（平成19）年の南埠頭高速船ターミナル完成により、現在の形に至っています。

沖縄行
喜界島・奄美大島行



- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1 新波止 | 12 五代友厚銅像 | 23 旧町 向江町の礎 |
| 2 一丁台場 | 13 月照上人遺跡の礎 | 24 旧町 生産町の礎 |
| 3 遮断防波堤 | 14 石灯笼 | 25 石蔵倉庫群 |
| 4 鹿児島旧港北防波堤灯台 | 15 マイアミ通り | 26 ドルフィンポート足湯 |
| 5 ボードウォーク | 16 鹿児島銀行本店別館 | 27 南風の泉 |
| 6 かがしま水族館 | 17 広馬場通り | |
| 7 明治天皇行幸碑 | 18 鹿児島市電 | |
| 8 赤倉病院の跡 | 19 ポサド横橋 | |
| 9 みなと大通り公園 | 20 桜島フェリーターミナル | |
| 10 太平洋戦争民間犠牲者慰霊碑 | 21 名山堀 | |
| 11 国道58号 | 22 イルカ水路 | |